

山中問答（李白）

余に問う何の意あつてか碧山に棲むと

解説 悠然とした人生観を表現している。

問余何意棲碧山 笑而不答心自閑
桃花流水杳然去 別有天地非人間

笑つて答えず 心自ら閑なり

語釈 ※余問Ⅱある俗人が私にたずねた。
※何意Ⅱどういう考えで。 ※碧山Ⅱみどり濃い山。
※閑Ⅱのどか。 ※桃花流水Ⅱ流れに散つて浮かぶ桃の花。
※杳然Ⅱ遥かなさま。 ※天地Ⅱ世界。
※人間Ⅱ俗世間。

桃花流水 杳然として 去る

通釈 ある人が、私にどんな気持ちでみどり濃い山に住むのかと聞く。だが、私はそんな問いには笑つて答えない。私の心はのどかである。流れに散つて浮かぶ桃の花が、遥かに流れ去っていくが、ここは、俗世間と違う別世界なのである。

別に天地の人間に非ざる有り